

研 修 の ね ら い

2026 年度を迎え、会員病院の皆様におかれましては、大変厳しい経営状況の中、地域が求める医療を提供するため、日夜、病院運営にご尽力されていることと存じます。

現在の医療提供体制は、人口減少に伴う患者の減少に加え、就労者の不足という構造的課題に直面しているだけでなく、物価や人件費の上昇等、多くの課題を抱えております。

今後、地域が、住民にとって安心して暮らし続けられる基盤として存続していくためには、地域医療の確保は不可欠であり、とりわけ自治体病院には、効率的かつ質の高い医療提供体制を追求していくことが求められています。

このような中、2026 年度事務管理者研修会では、基調講演として、当協議会常務理事の岩手県立中央病院院長 臼田 昌広 先生より、病院経営の改善に向けた取組や、その実践を通じて得られた知見、さらに全国の自治体病院事務長へのメッセージ等についてお話しいただきます。

また、午後は、事務長講演①として、地方独立行政法人県立広島病院 副院長兼事務局長の山口 浩央 氏より、県立広島病院における取組や新病院構想の概要、今後の地域医療提供体制の展望等についてお話しいただきます。

次に、事務長講演②として、地方独立行政法人芦屋中央病院 事務局長の市村 修氏より、中小規模病院における地域包括ケアの推進や地域医療を支える取組等についてお話しいただきます。

最後に、全国自治体病院協議会 経営調査部 部長の目貫 誠より、「自治体病院経営ハンドブック」を活用し、病院事業の交付税・企業債の仕組み等についてお話しいたします。

各施設とも財政事情が厳しいところと存じますが、さらなる研鑽の機会として、事務長のみならず、管理職員や中堅職員の方々にも是非ご参加いただければと存じます。

今回の研修を通じて、ご参加いただける方々にとりまして、一層の意識の向上の機会となることを期待しております。